

【3AM-78】雑音下での音声知覚について誤っているのはどれか。

1. 単音節は単語より明瞭度が高い。
2. 高頻度語は低頻度語より了解度が高い。
3. 有意義語は無意味語より明瞭度が高い。
4. 親密度の高い語は低い語より了解度が高い。
5. 文脈に即した語はそうでない語より了解度が高い。

【3AM-81】音の周波数情報の伝達に関与するのはどれか。

- a. 音波と相似の電圧波形
 - b. 蝸牛神経の発火頻度パターン
 - c. 蝸牛基底膜上で興奮が最大となる位置
 - d. 蝸牛基底膜上の進行波の波形
 - e. 聴覚系の神経活動の総量
1. a、b 2. a、e 3. b、c 4. c、d 5. d、e

【9AM-82】周期的複合音の心理的高さが変化するのはどれか。

1. 基本音を取り除いた場合
2. 基本音がマスクングされた場合
3. 基本音を増幅した場合
4. 倍音を増幅した場合
5. 周期が変化した場合

【10AM-82】誤っている組合せはどれか。

1. カテゴリー知覚・・・子音の知覚
2. カクテルパーティー効果・・・音源定位
3. 音色・・・スペクトル
4. 聴覚フィルター・・・臨界帯域
5. 母音の心理的高さ・・・場所ピッチ

【20AM-42】誤っているのはどれか。

1. 5 kHz 以上のピッチは時間説で説明できる。
2. 周期的な複合音のピッチは基本周波数が決定する。
3. 基本周波数成分が欠落しても基本周波数に対応して聞こえるピッチをバーチャル（仮想）ピッチという。
4. 聴神経インパルスの発火間隔がピッチを決めると考えるのが時間説である。
5. 基底板上最大の振れ幅の位置がピッチを決めると考えるのが場所説である。